

なかむら  
中村 かほるさん

ファーマーズマーケット あいす屋 オーナー

1955年生まれ。芽室町出身。地元で畑作や酪農を営んでいた農家だったが、2007年、めむろファーマーズマーケットの側にあいす屋をオープン。息子に継いだ牧場の生乳を使ってソフトクリームやジェラート、牛乳とうふ、ヨーグルトなどを製造・販売している。



## 地元から安全・安心なものをとどけたい

### きっかけ

夫婦で畑作や酪農を営む農家でしたが、地元のJAが運営する野菜直売所がオープンするときに、担当者から、「地元の牛乳を使ったアイスクリームの店を出店しませんか」と言われて、それに手を挙げたのがきっかけ。地元の牛乳を使った商品を多くの人に知ってほしいという思いから、起業しました。今年で起業してから12年目になりますが、最初は牛乳ソフトクリームだけだったのが、いろんな野菜を使ったジェラートやカップアイスの商品も増えてきました。

### 満足度

お客さんが「芽室牛乳で作ったソフトクリームはおいしいですね」と言ってくれることや、地元の食材を使ったオリジナルの卵を使わないアイスを食べ、笑顔になってくれることです。農家だったときと違って、直接喜ぶ顔が見えるのがうれしいです。今は、アレルギーの方も多くなっているので、「添加物や卵を使っていないから、安心して食べることができます」と言ってもらえるのも作る励みになります。隣の野菜直売所の安全・安心な農畜産物を使えることもありがたいですね。

### 苦労

一農家が商品開発や店舗経営というまったくの畑違いの分野に挑戦することになったため、考えなければならぬことや学ばなければならぬことが非常に多くありました。まずは、ソフトクリームの作り方から勉強しましたが、搾乳アルバイトだった帯広畜産大学の卒業生やミルク組のみなさんに手伝ってもらいながらなんとかやってきました。いろいろな人の協力があったからこそやってこれたと思いますし、地元から安全・安心なものを届けたいという起業したときの思いがあったから続けてこれたとも思っています。

### これから

息子夫婦が営んでいる牧場も、地元産の飼料を使って安全・安心な生乳生産に取り組んでいます。その生乳と素性がよく分かっている地元の芽室の野菜を使いながら、「安全・安心」をモットーにできるだけ長く続け、より多くの人に地元芽室の味を届けたいと思っています。隣の野菜直売所（愛菜屋）は、十勝の中でも大きいところなので、遠方からもたくさんのお客さんが来てくれますが、その帰りに安全・安心に作ったおいしいソフトクリームやジェラートを味わってもらえたらと思っています。

自分のような一介の農業女性であっても、挑戦することで得られるものがありました。無責任に「やってみて」とは言いにくいですが、今、挑戦している働く女性たちを応援したいと思います。